

永井一正 (SAVE) 1997

思考する **LIFE** 永井一正 × 姫路西高 SGH40

兵庫県立姫路西高等学校 1年7組 40人による

永井一正 ポスター展

2017.12.9 SAT → 24 SUN **観覧料無料**

姫路市民ギャラリー特別展示室(イーグレひめじ地下1階)

休室日: 12月11日(月)、18日(月)

開室時間: 午前10時~午後5時(最終日は午後1時まで)

主催: 姫路市立美術館 連携校: 兵庫県立姫路西高等学校

問い合わせ先: **美** 姫路市立美術館 Tel.079-222-2288

日本を代表するグラフィックデザイナー・永井一正氏は、姫路西高校(旧制姫路中学校)を卒業されました。本展は40人の若き後輩たちによる、永井一正氏のポスター展です。その40人とは、文部科学省SGH(スーパーグローバルスクール)事業指定校・兵庫県立姫路西高等学校の知の総合類型の1年生(SGH40)です。美術館で同時開催中の「永井一正ポスター展」を鑑賞し、先輩・永井一正氏の人と作品について深く学び、その成果を展覧会という形で社会に発信します。当館の所蔵作品の中から特に永井氏がライフワークとして取り組んでいるシリーズ《LIFE》に焦点を当て、生徒自身が作品を選びます。さらに、生徒が作成した清新でユニークな文章とともに作品を展示構成し、「思考するLIFE」展を作り上げます。多彩な講師により展開したプロジェクトの記録や、プロジェクトの記録映像も公開します。

永井 一正 (1929~)

グラフィックデザイナー。現在、日本デザインセンター最高顧問、日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)特別顧問。札幌冬季オリンピックなど国家事業のシンボルマークやポスターなどを幅広く手掛け、国内外の受賞歴多数。1980年代後半より独自の創作活動として、動植物をモチーフとした《LIFE》シリーズを展開。1989年の姫路市制100周年の折にはシンボルマークと記念事業ポスターを制作するなど、姫路との縁も深い。

■ 姫路市立美術館・学校連携プロジェクト

平成21年度「高校生学芸員展」を皮切りに、平成23年度には小中学校を対象とした連携事業も開始。平成24年度よりそれらを統合し、成果の発表を展覧会として行う事業「学校連携プロジェクト」を毎年実施してきた。これまで連携した学校は、小学校3校、中学校1校、高校5校。

思考する

平成29年度
美術館・学校連携プロジェクト

LIFE

永井一正



姫路西高 SGH40



同時開催 永井一正ポスター展
姫路市立美術館 企画展示室
11月12日(日)~12月24日(日)

問い合わせ先: 姫路市立美術館 Tel.079-222-2288

プロジェクトの流れ

■ 第1回 11月7日(火) [姫路西高校]

姫路市立美術館学芸員・本丸生野による出前授業。スライドを用いて、博物館の位置づけや社会的役割、姫路市立美術館の沿革、プロジェクトの概要について学びました。



■ 第2回 11月10日(金) [姫路西高校]



姫路西高校教諭・磯合幹男による授業。永井一正氏より提供されたインタビュービデオや西高の歴史年表を活用し、永井一正氏の姫路時代や作品の変遷についての知識を得ました。

■ 第3回 11月13日(月) [姫路市立美術館]

永井一正氏のご長男の永井一史氏(アートディレクター・多摩美術大学教授)によるワークショップ。展示室でポスター作品を鑑賞後、問いの抽出からディスカッションを経て、各自の考察を深めました。



■ 第4回 11月20日(月) [姫路市立美術館]

500点余りの作品が並ぶ展示室で、音楽家Ayuo氏とデザイナー軸原ヨウスケ氏によるパフォーマンスを体験。永井一正の世界をより深く鑑賞したあと、作品を自分の言葉でつむぎました。



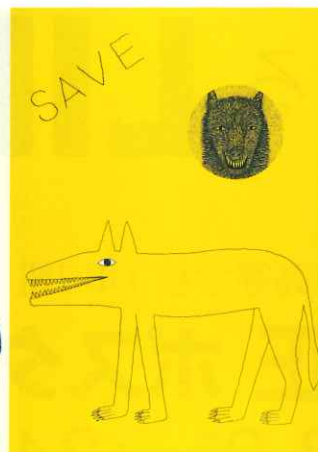
《save nature》1995



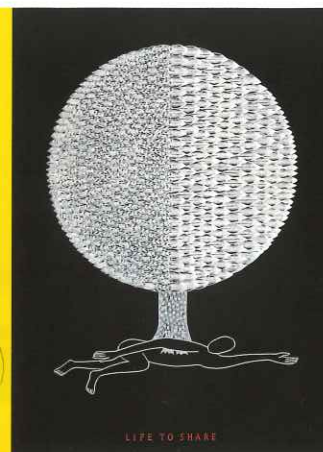
《I'M HERE》1992



《Save me, please. I'm here》1993



《SAVE》1998



《LIFE TO SHARE》1996